

地域生活支援基盤実習 目標到達度自己評価表（教員評価も同じ）

到達目標	A 達成できた	B ほぼ達成できた	C 不十分な達成	D 達成できたとはいえない
<b>1.地域で生活している人々の日常生活について理解できる</b>				
1.1 地域で生活している人々が日常どのように生活しているかについて、利用している施設での過ごし方から、自宅での生活について説明できる。	対象者の施設での過ごし方を観察したり対象者と対話をしたりすることで、施設内や会場内での生活のみでなく、在宅での食事、買い物、入浴などの過ごし方についても想像しながら関わることができた。そして、毎日の生活がさまざまな場で連続して営まれていることが理解でき、説明を求められた場合には自分の言葉で説明できる程度に理解できた。	対象者の施設での過ごし方を観察したり対象者と対話をしたりすることができた。施設内や会場内での生活から日頃の在宅生活について想像し、少なくとも日常生活の一場面（食事、買い物、入浴など）について具体的に想像することができた。説明を求められた場合には、日常生活の一部について説明できると思う。	対象者の施設での過ごし方を観察したり対象者と対話をしたりすることはできたが、施設内や会場内での生活から日頃の在宅生活を結びつけて考えることは難しかった。職員や教員の助言があれば、なんとか、対象者の施設での過ごし方と自宅での生活を関連づけることができた。	対象者の施設での生活を観察したり対話をしたりすることができず、施設での生活も在宅生活についてもよく理解できなかった。
1.2 地域で生活する人々にとって、利用しているサービスがどのような意味を持つか、具体的に説明できる。	地域で生活する人々にとって、利用しているサービスの目的や利用方法に加えて、サービスが必要な理由や、利用することによって生活にどのような変化や影響をもたらすのかについて具体的に理解できた。そして、サービスの利用が対象者にもたらす意味について考察でき、自分の言葉で説明できた。	実習で関わった対象者とのやりとりを通じて、地域で生活する人々が利用しているサービスの目的や利用方法について、理解することができた。さらに、サービスが必要な理由や、利用することによって生活にどのような変化や影響をもたらすのかについても具体的に説明できる。	地域で生活する人々が利用しているサービスについて、対象者が利用する目的や利用方法は把握することができた。対象者がサービスを利用する意味については、職員や教員の助言があればなんとか理解でき、自分の言葉で説明することができた。	地域で生活する人々にとって、利用しているサービスがどのような意味を持つかが説明することができなかった。
1.3 話しやすい雰囲気づくりのなかで日常生活について対話をし、対象者の思いを聴くことができる。	話しやすい雰囲気づくりを心がけ、対象者の様子・反応を観察しながら日常生活について対話をすすめる対象者の思いを聴くことができた。対象者がリラックスして話ができていると捉えられる反応を具体的にあげることができている。	話しやすい雰囲気づくりを心がけ、対象者の様子・反応を観察しながら日常生活について対話をすすめる対象者の思いを聴くことができた。話しやすい雰囲気づくりのために、どのような工夫をしたか具体的にあげることができている。	話しやすい雰囲気づくりを心がけたが、対象者がリラックスしているかなどの反応を観察する余裕はなかった。実習期間を通して、対象者と日常生活について対話をする機会はあったが、対象者の思いを丁寧に聴く時間はなかった。	話しやすい雰囲気づくりを心がけたが、対象者との対話はほとんどできず、対象者の思いを聴くことができなかった。
<b>2.生活における疾病予防や健康づくりに対する意識について理解できる</b>				
2.1 生活者が関心のある健康づくり行動について捉えることができる。	実習中に生活者の健康づくり行動について観察することができた。そして、生活者が関心のある健康づくり行動について、どうして関心があるのかその	実習中に生活者の健康づくり行動について観察することができた。生活者が関心のある健康づくり行動について、どうして関心があるのかその	実習中に生活者の健康づくり行動について観察することができた。生活者が関心をもっている健康づくり行動については捉えることができた。	生活者が関心のある健康づくり行動について捉えることができなかった。

到達目標	A 達成できた	B ほぼ達成できた	C 不十分な達成	D 達成できたとはいえない
	のかその対象者の健康問題だけでなく背景や心情を踏まえて捉えることができた。	対象者の健康問題と結びつけて捉えることができた。健康問題の理解はできたが、関心をもつ背景や心情については直接聴くことができず、対話のなかから推察した。	健康問題やその健康行動に関心をもつ背景・心情については直接聴くことができず、職員や教員の助言で推察することができた。	
2.2 生活者の健康づくりへの思いを知り、日々の健康への意識と生活への影響について理解できる。	実習中に生活者の健康への思いを尋ねたり、対話したりすることができ、対象者の健康づくりに対する思いを聞き理解することができた。そして、日々の健康への意識が生活にどのように影響しているのか対象者に実際に話を聞き、考察することができた。	実習中に生活者の健康への思いを尋ねたり、対話したりすることができ、対象者の健康づくりに対する思いを聞き理解することができた。そして、日々の健康への意識が生活にどのように影響しているのか推察することができた。	生活者の健康への思いを聴くことはできたが、日頃の健康づくりへの具体的な思いまでは知ることができなかったため、職員や教員の助言を参考に推察した。また健康意識が生活のなかでどのような行動につながっているのか、助言を得て想像することができた。	生活者の健康づくりへの思いを聴くことはできなかった。
<b>3. いくらかの健康問題を持ちながら生活している人々の実態を理解できる</b>				
3.1 健康問題に対して日常生活上でどのように対処しているか考察することができる。	健康問題が日常生活に及ぼす影響について、対象者から話を聞くことができた。話を聞く以外にも観察することによって生活への影響を捉えることができ、健康問題に対処する必要性や日々の生活で実際にどのように健康問題に対処しているか考察することができた。	健康問題が日常生活に及ぼす影響について対象者から話を聞くことができ、日々の生活で実際にどのように健康問題に対処しているか考察することができた。	対象者の健康問題について理解できたが、日常生活上でどのように対処しているか健康問題と対処行動を関連づけて考えるためには助言が必要であった。助言があれば、必要な対処行動について考察することができた。	健康問題に対して日常生活上でどのように対処しているか、健康問題と対処行動を関連づけることができず考察することもできなかった。
3.2 健康問題によって日常生活上の制限が生じていることや制限を生じる可能性があることについて考察することができる。	健康問題によって日常生活上の制限が生じていることや制限を生じる可能性があることについて、対象者の行動や言動を観察したり対話をしたりすることによって理解することができた。また、実習中に見聞きした制限以外にも、生活のあらゆる場で生じる制限や影響についても検討し、どのような支援が必要であるか考察を深めることができた。	健康問題によって日常生活上の制限が生じていることや制限を生じる可能性があることについて、対象者の行動や言動を観察したり対話をしたりすることによって理解することができた。また、実習中に見聞きした制限以外にも、生活のあらゆる場で生じる制限や影響についても検討することができた。	健康問題に起因する日常生活上の制限に関して1つの場面については見聞きすることができた。制限を生じる可能性については、職員や教員の助言があれば、健康問題や対象者の特性を踏まえて考察することができた。	健康問題によって日常生活上の制限が生じていることや制限を生じる可能性があることについて、考察することができなかった。
3.3 健康問題に対して日	健康問題に対して日常的に必要な	健康問題に対して日常的に必要な	健康問題に対して日常的に必要な	健康問題に対して日常的に必要な

到達目標	A 達成できた	B ほぼ達成できた	C 不十分な達成	D 達成できたとはいえない
<p>常に必要になる支援は何か、記述することができる。</p>	<p>る支援は何か、3日間の地域実習を通して理解した内容について先行文献や書籍を複数活用して考察を深め、レポートに記述することができた。考察する過程で、現状の支援やその体制・制度についても理解を深め、かつ課題意識をもつことができた。</p>	<p>る支援は何か、3日間の地域実習を通して理解した内容について先行文献や書籍を複数活用して考察をさらに深め、レポートに記述することができた。</p>	<p>る支援は何か、3日間の地域実習を通して理解した内容についてレポートに記述した。考察をさらに深めるための先行文献・書籍を1つは活用できた。</p>	<p>る支援は何か、記述することができず、考察を深めることができなかった。</p>
<p><b>4.健康づくりや疾病予防における取り組み（個人、地域）について理解できる</b></p>				
<p><b>4.1 個人が健康づくりや疾病予防のために意識して取り組んでいる日々の活動や生活習慣について理解できる。</b></p>	<p>個人が健康づくりや疾病予防のために意識して取り組んでいる日々の活動や生活習慣について実際に対象者に関わりながら見聞きすることができた。同時に、どのような意識で健康づくりや疾病予防活動への取り組みをおこなっているのか理解することができた。</p>	<p>個人が健康づくりや疾病予防のために意識して取り組んでいる日々の活動や生活習慣について実際に対象者に関わりながら見聞きすることができた。同時に、どのような意識で健康づくりや疾病予防活動への取り組みをおこなっているのか推察することができた。</p>	<p>個人が健康づくりや疾病予防のために取り組んでいることについては見聞きできたが、どのような意識で取り組んでいるのかはわからなかった。</p>	<p>個人の生活習慣や、日常生活で行う健康づくりおよび疾病予防活動が、どのようなものかわからなかった。</p>
<p><b>4.2 地域で行われている健康づくり活動や疾病予防の取り組みが個々の住民に与える影響について考察できる。</b></p>	<p>地域で行われている健康づくり活動や疾病予防の取り組みについて、実際にどのような取り組みがあるか、自分や他の学生が実習で経験したことなどから複数の取り組みについて具体的に説明することができた。地域資源が個々の住民に与える影響について、先行研究や書籍などを用いて考察を深めることができた。</p>	<p>地域で行われている健康づくり活動や疾病予防の取り組みについて、実際にどのような取り組みがあるか自分の実習経験から具体的に説明することができる。地域資源が個々の住民に与える影響について、先行研究や書籍などを用いて考察を深めることができた。</p>	<p>地域で行われている健康づくり活動や疾病予防の取り組みについて、実際にどのような取り組みがあるか1つは説明することができる。地域資源が個々の住民に与える影響について、他の学生の実習報告や教員の助言を参考にしても考察を深めることができた。</p>	<p>地域で行われている健康づくり活動や疾病予防の取り組みについて、説明することができなかった。地域資源が個々の住民に与える影響について、他の学生の実習報告や教員の助言を参考にしても考察できなかった。</p>